

平成30年 第2回別海町教育委員会議 会議録

1 開催日時 平成30年2月14日(水)
午前10時00分から午前10時35分まで

2 開催場所 別海町役場 町議会第2委員会室

3 出席者 (5名)

教育長	伊藤多加志
教育委員	大塚保男
教育委員	木村江里
教育委員	伊勢浩子
教育委員	粥川一芳

4 出席職員 (13名)

部次長	山田一志
指導主幹	谷口秀文
指導参事	根本涉
学務課長	入倉伸顕
学務課主幹	谷村将志
学務課主査	小野勝彦
学務課主査	佐藤亮
生涯学習課主幹	佐々木いづみ
中央公民館長	石川誠
中央公民館副館長	浦山佳代子
西公民館長	新堀光行
東公民館長	内山宏
図書館長	千葉宏

5 議事日程 議案第1号 別海町生涯教育研究所所員の委嘱について
協議案第1号 平成30年度教育行政執行方針について
報告第1号 町内小、中学校等の卒業式等の日程について

—【開会】—

伊藤教育長

ただいまから平成30年第2回の別海町教育委員会議を開会いたします。

本日の出席者は5名ですので、別海町教育委員会議規則第5条の定

足数に達していますので、会議は成立いたします。

開会に当たり、私から一言ご挨拶申し上げます。

本日は御多用の中お集まりいただきましてまことにありがとうございます。

平昌オリンピックが始まり、連日日本選手の活躍が報じられています。

上西春別地区では、郷里砂選手の応援も盛り上がっていることと思います。

先日の上西春別中学校の学校だよりで校長先生が「時間がかかったかもしれないが、諦めなくてよかった」という郷里砂選手の言葉を紹介していました。

今回の郷里砂選手の出場は、別海町の子供達に夢と希望と勇気を与えてくれたと思います。

本日14日の1,000メートルと18日の500メートルでは、マルチメディア館と西公民館でパブリックビューイングが行われます。

別海町を挙げて応援していきたいと思います。

話は変わりますが、今年の冬は雪が少ないと思っていましたが2月初めの雪では、各学校の行事や予定にいろいろな影響がありました。

そのような中、各学校の便りやブログには、保護者や地域の方からさまざまな支援、協力をいただいていることが書かれていました。

学校周辺の除雪、スケートリンクの除雪、中には地域の方が校門の前の横断歩道の除雪をしてくださったり、スケートリンクのようになっていた校舎前を、子供達が登校する前に重機で整備してくださった地域の業者の方、また、スケート大会で温かい飲み物等を提供してくれた保護者や地域の方など紹介されていました。

本当に多くの方々に学校は支えられています。

この地域の方たちの御支援に応えていくには、それぞれの学校の元気な子供たちの姿が1番だと思っています。

元気な子供たちの姿、特に元気な挨拶は地域を元気にし、地域の人たちも元気にします。

それが、私たちが今進めているコミュニティ・スクールの基盤になると思います。

これから学校では1年間で1番忙しく慌ただしい時期に入ってきます。

インフルエンザも大変流行してきています。

十分気をつけていきたいと思っています。

それでは、本日の日程に入ります。

よろしく願いいたします。

－【会議録の承認】－

伊藤教育長

日程第2会議録の承認に入ります。

平成30年第1回の会議録について事前に各委員さんに事務局から送付しておりますので、訂正御意見等ありましたら発言をお願いいたします。

(「なし」の声あり)

伊藤教育長

なければ、平成30年第1回の会議録について承認することとしてよろしいですか。

(「はい」の声あり)

－【報告】－

伊藤教育長

それでは日程第3報告に入ります。

1月19日に開催されました第1回教育委員会議から本日までの行事や実施事業等について事務局から報告願います。

部次長

それで私の方から1月19日金曜日に開催されました第1回教育委員会議以降から本日までの主な行事や実施事業等について御報告申し上げます。

まず1月21日日曜日ですけれども、午前9時から町営スケートリンクで第48回別海町町民スケート大会が行われ、同日午前9時50分からはすすく学級お父さんも一緒が行われております。

次に22日月曜日ですけれども、午前10時から平成30年第1回別海町議会臨時会が行われております。

また、22日から23日にかけて、この両日ですが、別海型コミュニティ・スクール先進地視察研修ということで、浦幌町へ出向いております。

それから、23日火曜日午後1時から、第4回予算編成等対策会議が行われ、それから24日水曜日午後1時35分から中春別小学校で生き抜く力向上策定プロジェクト横手市視察公開授業が行われております。

25日木曜日、別海中央小学校で給食一品まごはやさしいコンテストの表彰式と試食会が行われ、同日午前11時50分から、別海高等学校で平成29年度酪農経営科海外視察研修報告会、それから就農激励会が行われております。

また、同日午後2時10分からは、上春別小学校で上春別小中学校交流会、教育長出前トークが行われております。

26日金曜日、午後4時30分から、平成29年度全国中学校体育大

会第38回全国中学校スケート大会出場にあたって、教育長と副町長に表敬訪問がありました。

ちなみに、学校で言いますと、上春別中学校が4名、別海中央中学校が3名、上西春別中学校1名の合計8名の生徒が表敬しております。

次に、月が変わりまして2月1日木曜日午後2時から、第40回自然環境保全及び公害防止ポスターコンクール審査会が行われております。

また、同日4時から、第3回別海町立幼稚園園長会議が行われております。

3日土曜日午前10時から、中央公民館で第42回別海町少女下の句カルタ大会が行われております。

翌日4日日曜日ですけれども、午前8時45分から、西春別駅前リンクで第36回西部地区スケート大会が行われており、同日の午前10時から農村広場ふゆとぴあ in BETSUKAI 会場で、平成29年度釧根地区耐寒ラジオ体操が行われております。

6日火曜日午後1時半から、第13回矢白別演習場周辺まちづくり構想検討委員会が行われております。

7日水曜日午前10時から、平成30年第1回総務文教常任委員会が行われ、同日午後3時30分から、中央公民館で平成30年第49回別海町書初め展作品審査が行われております。

8日木曜日午後1時から、第3回別海町社会教育委員の会議兼ねて別海町公民館運営審議会が行われております。

9日金曜日ですが、別海中央中学校で給食一品まごはやさしいコンテスト表彰式と試食会が行われており、同日午後1時30分から、第10回別海町定例校長会議が行われております。

また、同日の午後4時から、中標津マルエー温泉で平成29年度別海の教育を語る会が行われております。

同日の午後7時から、別海高等学校で第4回別海高等学校学校運営協議会が行われております。

最後に、13日火曜日ですが、午後4時半から第21回北海道子供カルタ大会の出場に当たって、町長、教育長に表敬訪問がありました。

表敬団体については、別海中央百人一首少年団、それから、尾岱沼下の句カルタ少年団の2団体でありました。

以上で報告を終わります。

－【議 事】－

それでは、これから日程第4議事に入ります。

議案第1号別海町生涯教育研究所所員の委嘱について事務局から説明

生涯学習課主幹

願います。

別海町生涯教育研究所所員の委嘱について説明いたします。

議案書の1ページをお開きください。

現在の委員につきましては、17名を平成29年4月1日から平成31年3月31日までの2年間の任期で委嘱しております。

このたび委員の1人であります愛光幼稚園の吉田里子教諭から休職により平成30年2月9日付けで辞任願いの提出を受けたことから、委員の委嘱を解くことに伴う新たな委員の委嘱について承認を求めるものです。

後任につきましては、御本人から職に係る同意を得たところでありますので、愛光幼稚園の教諭であります林優羽教諭に別海町生涯教育研究所設置条例第3条に基づき、前任者の残任期間であります平成30年2月14日から平成31年3月31日まで委嘱を行うものであります。

以上で議案第1号の説明を終わります。

伊藤教育長

内容説明が終わりましたので、御質問御意見等がありましたらお受けいたします。

(「なし」の声あり)

伊藤教育長

御質問等がなければ採決いたします。

議案第1号について原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

伊藤教育長

異議がないようですので、議案第1号について原案のとおり決定することといたします。

続きまして協議案第1号平成30年度教育行政執行方針について事務局から説明願います。

部次長

それでは協議案第1号平成30年度教育行政執行方針についてということで、まず皆様に別冊で30年度の教育行政執行方針を渡しているかと思っておりますので、そちらを説明したいと思います。

それでは、事前にお目通しをいただいておりますかというふうに思いますので、全文読み上げということではなく、要点のみ説明していきたいと思っております。

まず1ページ、「I はじめに」についてですが、ここでは、最初に現状の社会情勢で子供達にとって、今後、変化が激しく予測困難な時代の中、生き抜く力を育むことの必要性について述べております。

次に、全町民が学び続け、豊かな心を育み、実りある生活を送り、本町の発展、この重要性と、充実した教育環境をつくることの必要性、こ

れについて述べております。

次に、町行政と情報共有、連携を図りながら、全町民のために教育行政を推進しているという町教育委員会のスタンスについても述べております。

次ですが、平昌冬季オリンピック大会での本町出身の郷里里砂選手の活躍を初め、中春別小学校、中春別中学校の全国リコーダーコンクールの出場など、多くの学校や団体が全国、全道大会や地区大会へ出場し、別海町の名を広めるとともに、別海町で生き抜いている強い姿を見せてくれたという現状を紹介しております。

さらに、2ページにわたりまして、本町独自の取り組みであります生き抜く力向上策定プロジェクト、この事業による教師力向上の取り組みなどが着実に教員の人材育成につながっており、本町の学校教育の推進を担っているという実態を述べており、これまでの取り組みの成果について記載をしております。

次に3ページ、「Ⅱ 主要施策の推進」の「1 生涯学習の振興」について、まず1つ目、町民1人ひとりが学びの木に示す成長の発達課題を達成し、生涯を通じて積極的に学び、地域づくりを進めることにより、活力に満ちた地域社会が形成されるとして、その実現のため、町民の学習活動を支援し、別海町生涯教育研究所等、町内のあらゆる組織を活用し、学習成果が地域の発展に活かされる環境づくりの推進について述べております。

2点目ですが、本町の生涯学習の拠点となる仮称「生涯学習センター」の次年度の計画等について述べております。

3点目、3ページ下段から4ページにかけてですが、子供たちがみずから学び、健やかに成長すること、そして、夢と希望を持って生き抜く力を育むため、学校、家庭、地域の連携協力の必要性を踏まえ、全町8学校区でコミュニティ・スクールを導入することとして進めることを述べております。

次に、4ページ4点目ではありますが、これからの地域づくりを担う若者の健全育成のため、地域に根ざした別海高等学校の継続を目指し、新たな寄宿施設への支援、これまでも実施している部活動支援、バス通学の全額補助、農業特別専攻科・酪農経営科の海外視察研修助成等をはじめとする各種支援の継続による普通科3間口の確保、そして酪農経営科の増員を図り、町としても魅力ある学校づくりを支えることについて述べております。

5点目ですが、子供たち自身が地域や自治体について興味や関心を持

ち、町政への参画の第1歩となる機会として、仮称ではありますが「別海子ども未来議会」の実施に向けて取り組みを進めるとして述べております。

次に5ページ「2 学校教育の充実」です。

前段、本町の小中学校における学力の現状に触れ、その解決に向けた取り組みの1つとして、生き抜く力向上策定プロジェクト事業を活用した魅力ある学校図書館づくり、多読の取り組み等の読書活動の推進や教育に新聞を活用するNIE活動の推進、そして、ビブリオバトルの実施による子供たちの読書活動の啓発について述べております。

次に、体力生活力の向上についてであります。6ページにわたりまして、全国調査で、体の柔軟性、跳躍力が過去3年間、平均を下回っている本町の現状や、肥満児の出現率が全国全道より高く、偏食や少食、孤食など、町の子供たちの食環境には依然課題が見られる、こういった現状に触れ、その解決に向けた取り組みの1つとして、まごはやさしいレシピコンテストの取り組みや、国で実施しております新体力テストの結果データの活用による、基礎体力の向上について述べております。

次に、教師力の向上について、教育先進地である秋田県横手市の視察研修を活かした授業や、アクティブ・ラーニングなど研修内容を工夫しながら、別海型の授業スタイルを構築していくことについて述べております。

次に、生徒指導の充実について、子ども理解支援ツールを活用し、よりよい人間関係づくりに努め、不登校傾向の対応では、登校しやすい学校環境づくりに努め、未然防止として、学期ごとに実施する不登校調査に基づき、ふれあいる一む、スクールソーシャルワーカー等の活用など、積極的な登校支援を行っていくということを述べております。

次に、特別支援教育の推進については、別海町サポート計画表を効果的に活用し、研修を通して、子供1人ひとりに応じた教育環境の改善や、7ページにわたりまして、保育園、幼稚園、小中学校の日常観察の実施、それから小学校就学前の5歳児の就学前相談などの充実、子供達の状況を的確に把握するための研修について述べております。

次に、幼児教育の充実につきましては、幼稚園教育要領で示す指針の達成に努め、義務教育の連携では、別海版接続カリキュラムを一層活用し、滑らかな学びの連携を図ることについて述べております。

この項目の最後であります。本年度の学校施設等の整備、それから平成32年度の運用開始に向けた、学校給食センターの整備について述べております。

次に、8ページの「3 社会教育の推進」についてです。

1つ目としまして、前段で公民館の役割について述べ、別海町平成寿大学、乳幼児母親家庭教育学級すくすく、それからアドベンチャースクールなど、各世代が学べる事業の推進について述べております。

2つ目、9ページにわたりまして、図書館についてですけれども、地域の読書活動の振興、それから町民の多様な学習を支援する情報の拠点として、移動図書館車や新たに開館した上西春別中学校地域開放型図書室、これらにより、さらなる利用促進を目指すとしております。

最後に、学校応援ボランティア事業の推進、それから後期アクションプログラムの実施及び第4次計画策定に向けた評価の実施について述べております。

次に、「4 青少年の健全育成」についてです。

この項目の1つ目として、メディアコントロールシートの活用により、基本的な生活習慣の定着と情報モラルの徹底を図り、生涯学習研究所が行った調査を活用するなど、情報モラル教育の一層の向上を図ることについて述べております。

次に2点目ですが、10ページにわたりまして、いじめ未然防止については、別海町子どものいじめ防止に関する基本方針に基づいて、アンケート調査等を活用し、早期発見と積極的認知に努め、学校全体で早期対応を行うとともに、各教科等の授業において、子どもがお互いの気持ちを積極的に伝え合う話し合い活動を位置づけまして、豊かな心の教育の育成を目指し、道徳授業を充実させるとして述べております。

この項目の最後には、ふれあいの翼交流事業の推進について述べております。

次に、5つ目の項目、「芸術・文化の振興」についてですが、まず1つ目、公民館や郷土資料館で学ぶ機会や、芸術文化に触れる機会を提供し、別海町文化連盟の各団体やサークルの自主的な活動と連携を図りながら、町民が積極的に参加・創造できる環境づくりを推進していくとして述べております。

2つ目として、史跡旧奥行臼駅通所は、3年間の保存修理工事が終了しますので、31年度からの一般開放と、それからヤチカンバ群生地への国の天然記念物指定に向けた調査研究を推進するということが、11ページには、郷土資料館での町の歴史文化や自然に関わる資料の収集、整理、保管、調査研究を進め、展示物の充実を図ること、また、町の歴史や、自然を学ぶ機会として、ふるさと講座や郷土学習出前講座、それから出前移動展、これらによる教育普及活動の展開について述べており

ます。

次に6番目の項目「スポーツの振興」についてです。

まず、前段、町民が自分に合ったスポーツ交流が進められるよう、地域の特性を生かした四季折々のスポーツを推進し、関係団体とも連携を深めながら、「町民皆スポーツ」これの実現を目指すとして述べております。

次に、整備の関係では、町民体育館の内部改修工事の実施、また、老朽化が進む各施設の計画的な補修維持について述べております。

次に、第40回の記念大会となります別海町パイロットマラソン大会の実施に向けまして、道内外から多くのランナーの参加が得られるよう、充実に努めるということ、それと12ページでは、スポーツ界で活躍した選手を講師とするセミナー等の実施による地域におけるスポーツ競技の振興について述べております。

「Ⅲ おわりに」ということで、ここでは教育行政執行方針に係る方針の実現に当たっては、協働のまちづくりの精神のもと、全町民の理解と協力の上、町総がかりで実施していくことが大切で、教育委員会として将来を担う子供たちのため、みずからの力で明るい未来を切り開いていくことができるように、学校、家庭、そして、地域と密接な連携を図り学校教育を進める、それとともに全町民が生涯にわたって学び続ける機会を保障できるよう、町の教育振興発展に取り組みますということで締めくくっております。

以上、雑駁な説明ではありますが、説明のほう終わりたいというふうに思います。

伊藤教育長

内容説明が終わりましたので、御質問御意見等がありましたらお受けいたします。

大塚委員

質問ということではありませんけれども、事前に執行方針を送ってもらって見せていただきました。

非常に丁寧な説明の文書で、内容がよく理解しやすいというふうに感じましたし、内容についても教育委員会の抱えている課題や、それに対する取り組み等についてしっかり網羅されていると感じました。

今回の教育行政執行方針については、ボリューム的にすごく多くなったと感じますけれども、誰が見てもわかりやすい内容ということによろしいのではないかと感じておりました。

以上です。

伊藤教育長
部次長

事務局から説明はありますか。

今おっしゃられたとおり、言葉1つ1つの難しいことについてもです

ね、割と丁寧に、皆さんが耳にしても理解しやすいような内容になるよう努めたところで、御指摘のあったとおり、それゆえに多少ボリュームが多くなっているところは感じておりますが、そのところは御理解をいただきたいと思っております。

これでも、かなり短くなるように努力はしたのですが、いろいろ丁寧な説明をしようとする、ここが限界かなというふうに感じているところではあります。

以上です。

伊藤教育長

そのほかございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

伊藤教育長

御質問等がなければ、採決いたします。

協議案第1号について原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

伊藤教育長

異議はないようですので、協議案第1号について原案のとおり決定することといたします。

続きまして、報告第1号町内小中学校等の卒業式等の日程について事務局から説明願います。

学務課長

それでは、報告第1号町内小中学校等の卒業式等の日程について説明いたします。

議案書3ページをお開きください。

報告第1号町内小中学校等の卒業式等の日程について、別海町立認定こども園、小学校、中学校の卒業式等の日程を決定したので報告する。

議案書4ページをお開きください。

議案書4ページに平成29年度の卒業式の日程及び平成30年度の入学式の日程を記載しております。

平成29年度の卒業式につきましては、小学校が3月16日、19日、20日、22日の日程で、16日が2校、19日が1校、20日が4校、22日が1校です。

続いて中学校が3月13日、14日、15日の日程で、13日が1校、14日が6校、15日が1校です。

認定こども園については、全ての園で3月16日に行われます。

次に、平成30年度の入学式につきましては、小学校中学校ともに全ての学校で4月6日に行われます。

続いて、認定こども園については、4月9日、10日の日程で、9日が1園、10日が2園です。

今後、出席委員につきましては、教育長、各教育委員さんの日程を調整させていただきまして決定させていただきます。

伊藤教育長

以上で報告第1号の説明といたします。
内容説明が終わりましたので、御質問御意見等がありましたらお受けいたします。

(「なし」の声あり)

伊藤教育長

それでは報告第1号について原案のとおり了承することとしてよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

伊藤教育長

それでは報告第1号について原案のとおり了承することといたします。

－【その他】－

伊藤教育長

それでは、議事については全て終了しましたので日程第5その他に入ります。

部次長

事務局から何かございますか。
先ほど教育長の冒頭の挨拶の中でも紹介がありましたけれども、今日、それから日曜日の両日、郷里里砂選手の応援パブリックビューイングが行われるということで、委員の皆様も時間があれば、それぞれ会場は西部地区が西公民館、中央地区がマルチメディア館ということですので、足を運んでいただいて、町民の皆さんと一緒に応援していただければありがたいというふうに思っています。

伊藤教育長

以上です。
その他にございませんでしょうか。

(その他なし)

伊藤教育長

委員さんから何かございますか。

(「なし」の声あり)

伊藤教育長

ないようでしたら以上で本日予定していました案件については全て終了しました。

これをもちまして第2回教育委員会議事を閉会いたします。
皆さん御苦勞様でした。

－【閉 会】－